

建部

キラリ

No.2
令和6年7月発行

編集・発行 建部地区まちづくり協議会 広報企画部会



建部里まつり(河辺いきもの森)

建部地区まちづくり協議会総会2024

令和6年度新役員体制でスタート

5月21日(火)建部コミュニティセンターにて、令和6年度建部地区まちづくり協議会総会を開催しました。総会には、まち協会員、自治会長、各種団体長など約40人の出席をいただき、提案した7議案を原案どおり可決、承認いただきました。

令和6年度の役員の皆さまです。

会長	福井 好信(北)	新任
副会長	南川 雅次(日吉)	再任
副会長	奥 伊佐雄(北)	再任
事務局長	種村 暢夫(南)	新任
会計	磯部 善之(上中南)	新任
会計監事	松木 喜代司(下野)	新任
会計監事	田中 健一(上中北)	新任

(専門部会)

環境美化部会長	高村 和弘(大塚)	再任
歴史文化部会長	小泉 嘉津浩(下野)	新任
健康福祉部会長	谷口 勝美(日吉)	再任
広報企画部会長	中井 昇(東一)	再任
(コミセン館長)	種村 暢夫(南)	再任

会長就任あいさつ

この度、建部地区まちづくり協議会の会長に就任いたしました北町の福井好信です。

まちづくり協議会の運営に携わって日も浅く、昨年度の副会長を務めた経験しかございませんが、経験豊富な役員さんのご協力の元、建部地区の皆様方のご支援をいただきまして、会長という大役を務めさせていただきます。

建部まち協が平成18年に設立されて、18年になります。その間、少子高齢化の進展や新型コロナウイルスの蔓延などにより、地域の活力が弱まり、老人クラブ連合会の解散や子ども会連合会が休止に至るなど、住民が求めるものも変化しています。

地域の皆様が望まれるまちづくりに応えていくためには、地域団体と建部まち協との連携強化が不可欠です。そのため、住民の皆様が建部をどんな地域にしていきたいのかを把握し、それらを反映した活動を行っていきたく思います。皆様のご支援ご協力をよろしく願います。

(会長 福井好信)

退任のあいさつ

振り返りますと、平成24年に自治連会長としてまち協に関わらせていただき、その後事務局長4年、会長6年と務めさせていただきました。その間、地域課題の解決や豊かな地域づくりのために多くの皆様方にお力添えを賜り感謝申し上げますと共に厚くお礼申し上げます。これからは、心豊かに住み続けたいと思えるまちづくりを時代に合った形で進めていくことが必要と思われま。建部地区の皆様方には、今後ともまち協の活動にご支援ご協力賜りますようお願いいたします。

(前会長 渡辺康雄)



建部の歴史

幻の建部城を探せ

永禄11年(1568)織田信長は足利義昭を奉じて上洛を目指します。南近江の盟主六角義賢(丞禎)義弼(義治)親子は戦いを挑みますが、観音寺城と和田山城は落城し、六角親子は甲賀に敗走します。箕作城を守っていた建部源八郎も降伏し織田信長は上洛を果して足利義昭は室町幕府15代将軍に就任します。

元龜元年(1570)4月、織田信長は越前朝倉氏を攻めますが、浅井長政の裏切りにより金ヶ崎から朽木を抜けて京へ逃げ帰ります。同年6月織田・徳川連合軍と浅井・朝倉連合軍は姉川にて戦います(姉川合戦)。織田・徳川連合軍は勝利しますが、9月に石山本願寺が信長に反旗を翻します(志賀の陣)。10月には反信長勢力(六角旧臣、一向宗門徒、浅井軍など)が一揆軍となり、観音寺城、箕作城を占拠しその拠点になったのが建部城で、建部一揆と呼ばれています。

地名に歴史の痕跡

昭和30年代に地元の郷土史家が地名(字名)から建部城の痕跡を探す調査を行ない、現在の建部上中町に北門(きたかど)南門(みなみかど)的場(まとば)などの地名があることからここに建部城があったと推察されます。五個荘木流に建部伝内(建部源八郎の一族)の屋敷跡があります。この場所が建部城ではないかと考察されます。どちらの歴史も霧の中です。

また、上中町の浅の前は観音寺城落城の際に側室(浅御前)を助け出し、かくまったとの伝承があります。

参照：ふるさと建部(平成18年発行)



五個荘木流建部伝内屋敷跡

建部の福祉

法人・事業所名：社会福祉法人こなんSSN 「凧日和」(かいとびより)。

事業開始：平成19年4月1日

事業内容：障害福祉サービス

建部地区の皆さまには日頃より私どもの活動にご理解ご協力を頂き有難うございます。

凧日和は障害をお持ちの方が利用されている事業所です。

「働く場」を提供するだけでなく、同じ障害や病気を仲間と集う場・社会的体験を広げる場として、障害があっても住み慣れた地域で社会生活が営めるよう「安心できる居場所」としての役割を大切にしながら日々活動しています。

3年前、現在の場所に新築移転したのを機に「cafeまめいる」という店舗営業を始めました。この「cafeまめいる」や「秋のイベント」が地域の皆さまとの交流の場となれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



たてべ梨が美味しい！！

たてべ大風果樹生産組合の込山雄太郎さんにお聞きしました。

たてべ梨は約20年前に父を含む4人の農家が一念発起して始まりました。最初は色々な苦労があったと聞いていますが、今では有難いことにたくさんのお客さんに応援していただけるようになりました。

たてべ梨は始まった頃から「美味しいと言ってもらえる梨」「梨本来の美味しさ」を追求してやって来たので、これからもその思いに努力を続けて、よりたくさんの人にたてべ梨を食べてもらいたいです。

約20年前に父が始めた梨園を、父の代だけで終わらすのはもったいない、せっかくなら継いでいきたいと思い、梨園を継ぐことを決めました。

4年間父の元と一緒に梨作りを経験し、昨年経営を引き継ぎました。

たてべの梨では主に6品種、収穫順に筑水、香麗、幸水、豊水、南水、あきづきを作っています。

収穫時期は8月初め～9月末までで、直売所にて販売しています。

直売所：滋賀学園野球グラウンド前

とにかく美味しい梨を作り続け、より多くの人にたてべ梨を食べてもらうことが今の目標です。

また、地元の人にもたてべ梨の事をもっと知っていただいて、「建部の特産品」と言ってもらえるように頑張っていきたいです。



たてべ大風果樹生産組合の皆さん

～夏の養生～

近頃の夏は、30度以上になる日が多く、夏の養生はとても重要です。夏の暑さは『暑(しょ)邪(じゃ)』といい、身体に重要な「気」「血」「水」を傷つけて病気の原因をつくります。暑邪は、体のエネルギー「気」を消耗し、「血」に熱を持ちやすくなり、出血しやすくなったり、汗が出すぎにより「水」が不足しやすいなど、このような状態が続くと病気になってしまいます。夏の暑さから体を守り、余分な熱を発散するため適度な発汗を心がけ、激しい運動は控えてください。汗の出すぎは体力を消耗します。

また、夏は冷たい飲み物を多くとりがちになりますが、それらは、おなかを冷やし胃腸を悪くしますので、取り過ぎには注意が必要です。食材は夏野菜を中心にして、夏の暑さから身体を守りましょう。

まち協ニュース

5月

サツマイモの苗を植えました。10月に親子サツマイモ掘りの準備です。たくさん美味しいサツマイモができるのを楽しみにしててください！！

6月

建部地区の環境美化作業をしました。建部地区のみんなでキレイにしましょう！！

瓦屋禅寺参道の整備作業をしました。建部の歴史に触れてもらいたいです。ぜひ、瓦屋禅寺へ来てください！！

建部里まつりにたくさんのご来場ありがとうございました。皆さんの素敵な笑顔にたくさん出会えました。来年度も開催予定です！！



お問い合わせ先

建部地区まちづくり協議会・建部コミュニティセンター

TEL・FAX:0748-22-0303 IP:5801-0303

Mail : tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp

公式LINE

建部地区まちづくり協議会&コミセン



～みんなが楽しい！八日市北小をめざして～

豊かな心と学ぶ力をもち、共に生きる子どもの育成

4月に61名の1年生を迎えて、全校児童387名で令和6年度がスタートしました。本校の学校教育目標は、「豊かな心と学ぶ力をもち、共に生きる子どもの育成」です。「やさしい」心と「自ら学ぶ意欲と確かな学力」をもち、互いを認め合いながら、互いに「高めあう・磨きあう」子どもたちの育成をめざします。学校スローガンとして「みんなが楽しい！八日市北小学校！」を掲げ、子どもたちと教職員はもちろん、保護者や地域の皆様も含めて、まさに「みんな」で、「みんな」にとっての価値のある「楽しさ」を追求していく…そんな「地域とともに歩む学校づくり」を進めています。

本校では「確かな学力」の土台として「体験活動（学習）」が大変重要だと考えています。例えるなら、「体験活動（学習）」という「山の裾野」が広ければ広いほど、概念・知識・思考・表現といった「山頂（頂上）」＝「学力」は高くなるという関係になると考えます。もちろん、ここでいう「学力」は単に教科の学習に限ったことでなく、道徳性や社会性といった「心づくり」や「人間関係づくり」等も広く含んでいます。本校が、自然体験学習（やまのこ・うみのこ・たんぼのこ・もりのこ学習・校区探検等）だけでなく、学校行事の取組や児童会活動（クラブ・委員会）等の「関わり活動」を重視しているのも、実際に「体験」して学ぶ…実際に「関わって」学ぶことを大切に考えているからです。

本校区は、東近江市の中心地にあり、官庁街や商店街、近江鉄道八日市駅を起点とした公共交通機関が整っており、またたんぼが広がる豊かな自然、さらには価値ある史実も多く残る大変恵まれた校区です。地域の中に子どもたちの「体験的な学びの種」＝教育資源がまだまだたくさんあると思っています。

地域の皆様のご理解とご支援をいただきながら、「地域を学び、地域を知り、地域を誇りに思う」子どもたちを育てていければと思っております。随時募集しております「北小支援ボランティア」の活動を通して、地域の多くの方々が、学校に関わっていただき、学校と地域の風通しを良くするとともに、子どもたちがたくさんの方々と豊かな「関わり」を通して、健やかに育っていってくれることを切に願っております。地域の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



5年生 たんぼのこ 田植え体験



6年生 修学旅行 職業体験



3年生 社会科 まち探検



4年生 もりのこ 森の探検

大切にしたいのは 体験と関わり



児童会主催 全校遊び（バナナ鬼）



児童会主催 たてわり班遊び

本校の子どもたちの様子や校長の思いを毎日発信しています。ぜひご覧ください。

